



### Discography

1stアルバム  
「うましあしかび」



- 収録曲
- 1 序章 ～こだま～
- 2 豊草原の瑞穂の国
- 3 夢と羽
- 4 こよみの唄
- 5 Sensitive
- 6 ただ笑うしかなかった
- 7 翡翠
- 8 ヒトゲノム
- 9 Verão ～夏の歌声～
- 10 花の祈り
- 11 ボクの瞳に映るモノ

価格：2,500円(税込)

2ndアルバム  
「このはなさくや」



- 収録曲
- 1 更紗の光
- 2 Together Forever ～遙かなる絆～
- 3 さくら道
- 4 砂塵の民
- 5 天地への祈り
- 6 伝承記
- 7 夫婦塚
- 8 Prayer of the Flowers
- 9 心の夜明け
- 10 水の惑星
- 11 このはなさくや

価格：3,000円(税込)

3rdアルバム  
「みたまのふゆ～恩頼～」



- 収録曲
- 1 みたまのふゆ ～恩頼～
- 2 まほろば
- 3 敷島
- 4 いつかの子供たちへ
- 5 Gaia
- 6 Mundo Lindo
- 7 玉響
- 8 天 SORA
- 9 常若
- 10 縁の絆
- 11 弥栄

価格：3,300円(税込)

御大典記念 童謡 唱歌  
「心のふるさと」  
Songs of Japan



- 収録曲
- 1 ふるさと
- 2 一月一日
- 3 さくらさくら
- 4 春の小川
- 5 こいのぼり
- 6 夏は来ぬ
- 7 ふじの山
- 8 村祭り
- 9 赤とんぼ
- 10 通りゃんせ
- 11 蛍の光
- 12 君が代

制作：禮典研究会・瑞玉(OB)会

価格：2,200円(税込)

初のメジャーアルバム  
「楽園」



- 収録曲
- 1 水のメロディー
- 2 楽園
- 3 北斗七星
- 4 Blessing
- 5 泡沫 ～Sigh of LUNA～
- 6 常若の森
- 7 豊草原の瑞穂の国
- 8 さくら道
- 9 Prayer of the Flowers ～花の祈り～
- 10 縁の絆

発売元：スウィート・ハート レコード  
販売元：ユニバーサルミュージック ジャパン

価格：3,300円(税込)

4thアルバム  
「くくり」



- 収録曲
- 1 みすまるのたま ～御統玉～
- 2 青の果て～Beyond the Blue～
- 3 三つ星
- 4 とつきとおか
- 5 ヴェシカパイシス
- 6 再会
- 7 縁側
- 8 くすのき
- 9 くくり
- 10 大拍子
- 11 中今
- 12 地球のゆりかご

価格：3,500円(税込)

涼惠の公式WEBサイト <http://suzue.asia/>

## 涼惠 20周年記念コンサート「くくり」 K U K U R I



友成好宏 (ピアノ) 西川啓光 (邦楽打楽器(東京公演のみ)) 木原良二 (龍笛) **涼惠 SUZUE** (歌) 山内薫 (ベース) 海老原真二 (シンセサイザー) 山田征司 (カリンバ)

**東京** 令和4年 11月26日(土) 昼の部 開演14:30 夜の部 開演19:00  
- 公演 -  
於：神田明神ホール

**大阪** 令和4年 11月28日(月) 開演18:00  
- 公演 -  
於：大阪市中央公会堂大集会室

主催：涼惠後援会  
特別協力：涼惠20周年記念事業実行委員会  
後援：産経新聞社、ラジオ関西、FM81.4、國學院大學  
協力：大阪天満宮、伊弉諾神宮、神田神社、白山比咩神社

※ 今回の涼惠20周年記念コンサート「くくり」はカーボンニュートラル社会の実現に向け、水素燃料電池車の外部給電で楽器等へ電力を供給することにより、地球環境に優しいコンサートを実施します。



協力：トヨタモビリティ東京(株)、大阪トヨペット(株)



# コンサート「くくり」

一部

二部

青の果て  
～ Beyond the Blue ～  
作曲：涼恵

みすまるのたま  
～ 御統玉 ～  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

ヴェシカパイニス  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

くすのき  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

中今  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

くくり  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

地球のゆりかご  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

こだま  
作曲：涼恵

恩頼  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

天 SORA  
作詞：涼恵 作曲：小倉泰治

北斗七星  
作詞：涼恵 作曲：長岡成貢

花の祈り  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

常若  
作詞：涼恵 作曲：涼恵

豊葦原の瑞穂の国  
作詞：涼恵 作曲：涼恵  
食前食後の感謝のことば：本居宣長

休憩  
15分

## 涼恵 SUZUE 歌



### プロフィール

小野八幡神社・権禰宜。ブラジル生まれの女子神職。幼い頃から神社で育った彼女は、自然の語らいに耳を澄まし言霊を唄うと評され、国内外で人気を博す。作詞作曲を手がける作品は洋楽器に雅楽器をとり入れた独特の音楽世界を創造している。世界宗教者平和会議(WCRP)の第八回世界大会、NYカーネギーホール、ブラジル、ロシア、中国、タイなど彼女のコンサートは世界各地で開催され、その音楽性に国境のないことを証明する。

カトリック系の高校を卒業後、平成10年より権禰宜を拝命。平成18年国連NGO組織にてニューヨークで東海岸で唯一の神職として、諸宗教との対話活動や神事に従事する。母性に焦点をあてた独自の解釈で解説する「古事記」の講師、講演会などその活動は多岐にわたる。神社新報にて「社に想ふ」連載中。神道文化賞受賞。武士道の著書で「あり日五円札の新渡戸稲造は縁戚」。

令和元年、御大典記念事業として角松敏生プロデュースによる童謡唱歌のアルバム「心のふるさと～ Songs of Japan～」を発表。令和二年、長岡成貢プロデュース「楽園」(UNIVERSAL MUSIC JAPAN)にてメジャーデビュー。同年、神社新報ボックスより初の随想集「言霊の響き」が上梓された。令和四年、活動20周年を迎える。

### Her Voice

彼女の特性は、まず声にある。人の心に優しく響き渡るナチュラルでイノセントな声。時に豊かで、慈愛深く心の底から癒されてゆく感がある。 Suzue's voice touches your heart. She has the gift of healing... beautiful, innocent and so affectionate.

### Her Music

彼女の持つ詩の世界観は、未だ出会ったことの少ない世界がある。洋楽器に雅楽器を用いたりなど、音楽には様々なジャンルがあるが、ジャンルに捉われないことなく彼女独特な涼恵ブランドを確立している。 Her lyrics take you to a journey into an unknown world. She blends East and West in music. Her creation is above and beyond genres.

### Her Destiny

ブラジル生まれの神道神職という彼女の生い立ちの中で自然と身についた、違いを認めた上で共通点を深めてゆく感覚。彼女の先祖である新渡戸稲造もそうであったように多様性の融合、慈愛と共感を伝えてゆくメッセンジャー。 Born in Brazil and raised as a Shinto Priestess, she naturally gained the sense to cherish the similarities beyond differences. Like her great ancestor, Inazo Nitobe, Suzue also wants to be a messenger to share the beauty of diversity, affection and empathy through her music.

### Her Mission

神職としてもシンガーソングライターとしても、一貫していることがある。それは、人々の心の迷いや淀みを洗い清めること。それが彼女の使命である。 As a priestess and as a singer also her mission is to clear and purify worries in human's heart.

## 出演者 プロフィール



**友成 好宏** ピアノ  
1958年8月6日生まれ。北海道滝川市出身。高校在学中からプログレッシブ・バンドで活躍し、プロとして活躍を始める。1979年、レコードデビュー。1983年、角松敏生バンド結成と同時にメンバーとして加入、レコーディングやツアーに参加。スタジオ・ワークと同時に様々なアーティストのツアーやセッション・ライブのメンバーとして活躍している。杏里、浜田省吾、村田和人、今井美樹、KAN、中島みゆき、浜崎あゆみなど、数多くのアーティストをサポート及びレコードセッションをつとめ、同時にライブにも積極的に参加するなど、日本屈指のキーボード奏者としての地位を不動のものとする。



**山内薫** ベース  
ベーシスト、1960年東京生まれ。武蔵大学在学中よりアーティストサポートとしてプロ活動を始め、その後多くのステージ、レコーディングなどでベースを弾いている。主なアーティストは、杉山 清貴、EPO、尾崎亜美、GAO、福山雅治、小田和正、中西保志、鈴木茂、藤井 フミヤ、一青窈、広瀬香美、平原綾香、角松敏生、加山雄三、岩崎宏美、など。



**西川啓光** 邦楽打楽器(東京公演のみ)  
邦楽打楽器演奏家。音楽監督、音楽プロデューサー。現代邦楽演奏家としてレコーディング・CM・テレビ・コンサート等、国内・海外とわず精力的に活動している。劇団四季、宝塚歌劇団、蜷川シェイクスピア、スーパー歌舞伎などで作曲・指導多数。2019年ハリウッド映画「ゴジラ・キング・オブ・モンスターズ」では日本サイドの音楽監督を務める。プレステーション4「ghost of Tsushima」の太鼓演奏及びアドバイザー。オーケストラアジア・ジャパン所属。日本音楽著作権協会会員。洗足学園音楽大学元講師・現代邦楽研究所講師。著作「和太鼓をはじめよう!」全3巻(汐文社)



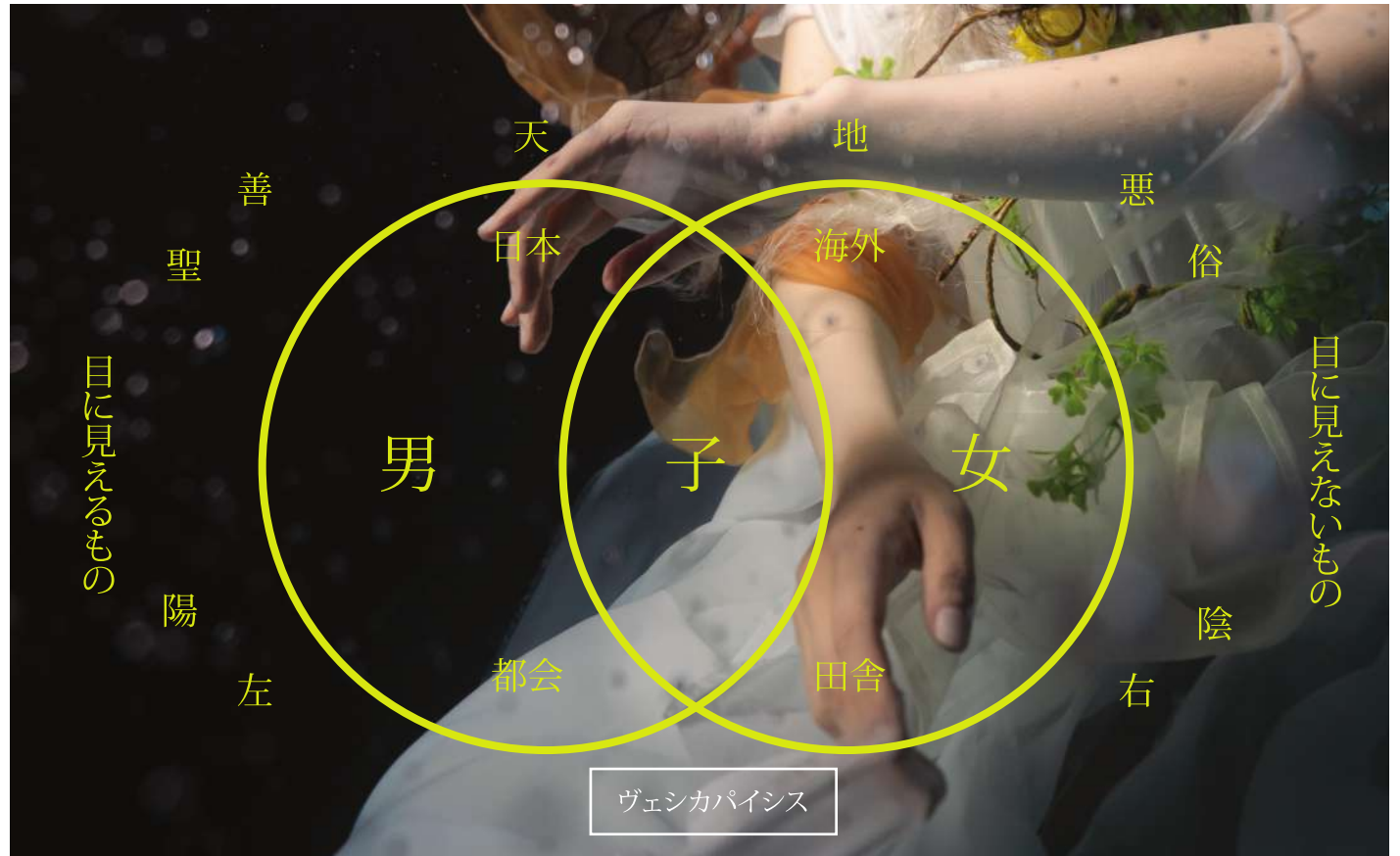
**海老原真二** シンセサイザー  
鹿児島市出身。紙ふうせんのサポートキーボーディストとして、プロのキャリアスタート。岡村孝子、荻野目洋子他数多くのアーティストのコンサートツアー、レコーディングに参加。喜多郎ワールドツアーに長年同行、2017年グラミー賞にノミネートされた空海の旅5にも参加している。自己のアルバムMelodicaを2019年に発表。



**山田征司** カリンバ  
カリンバ奏者・制作者。沁み渡る水のような音色で音楽以前の現象の調べを奏するのが特徴的。人の内懐する郷愁の叙情、自然の気配を感じる音作りを探索。幽けき音は自然に帰すものとして音源を持たず生演奏のみで活動。現在は演奏活動を控え、工房樹洞の名で楽器の制作活動に専念。カリンバの森、音のしずく等ファシリテーターが開催するワークショップのサポートに尽力している。2017年、国連世界水の日のアクション名が自身のオリジナル曲'm Waterから採用される。2021年、Suzueが神職を務める小野八幡神社の御神木でカリンバを制作。今日の共演に至る。



**木原良二** 龍笛  
2003年、日本ASEAN交流年記念「虹の舞」東京フォーラム公演(文化庁支援) 2006年、国連加盟50周年ニューヨーク雅楽演奏会等に出演。現在は、神社仏閣の儀式での演奏を中心に活動。また、講習会の講師や、中学校の授業で龍笛を教える等、雅楽の普及に尽力。今後は他のジャンルとのコラボレーションも予定。小野雅楽会会員。龍遊会会員。O型。魚座。



ヴェシカパイニス

涼恵20周年記念コンサート「くくり」では、  
水素燃料電池自動車で作られるクリーンで高品質な電気を使用します

自然の恵み（エネルギー）を最大限に頂き、日本の心や感性を歌/音楽として届けることで、  
サステナブルな社会の実現への願いを共有します。

「循環型社会」の実現に向けた水素活用事例を“SDGsを推進する神社”“国指定重要文化財”から発信



神田明神ホール



大阪市中央公会堂（国指定重要文化財）

楽器類にクリーンで高品質な電気を供給

燃料電池は「小さな発電所」



燃料電池自動車「MIRAI」



燃料電池は、水素と酸素を化学反応させて電気をつくる発電所のようなもの。  
しかも発電するときにCO2や有害物質が一切出ず、排出されるのは水だけです。

協力：トヨタモビリティ東京株式会社 大阪トヨペット株式会社

We are part of nature.

私たちは地球の一部  
自分と書いて「自」然の「分」身

令和の仲執持として

Suzue, she is like a conduit between nature and human as a shinto priestess and a singer song writer.

"唄は祈り"

神職が何故、唄うのか。

それは音楽を通して次世代へと伝えたいことがあるから。受け継ぎたい想いがあるから。  
紡ぎたい言葉があるから。残したい言霊があるから。

コロナ禍の影響も重なり、過剰な二極化が進む世の中で、神職の唄ひ手として今できることは？

この度の20周年を記念した作品のタイトルは「くくり」と決意しました。

世の中が分断されてゆく。透明なクリアボードで遮断された空間はこれからいつまで続くのでしょうか。  
変わりゆく環境の中で変わらないものは、きっと、心や歌や祈りに通ずる目に見えないもの。  
目に見える世界で分断が進むのなら、バランスを取るために世の中はもっと繋がる心を増幅しないと均衡は保てなくなり、破壊へと進んでしまう。現に、ロシアとウクライナの戦況はそのことを示しているかのようで心が痛みます。

ご承知の通り「くくり」とは日本書紀の中で、登場する女神、菊理媛さまのことであり、「くくりつける」の意でもあります。

イザナギイザナミが黄泉の国でお別れをしようとするその時に、たった一度だけ現れる神様。  
対極する <光と闇、陰と陽、男と女、善と悪、生と死、過去と未来、右と左、公と個、都会と田舎、日本と海外etc> を和合させる存在。

二極化、分断、廃却ではなく、融合、結束、保管へ。くくりとは調和の心そのもの。物事をくくりつける。対極するもの、  
離れゆくものを結ぶ不思議なチカラ。

そんな目に見えない「くくり」を音に、声に、歌として作品を仕上げてゆこうと思います。

括り付けるには、それなりの力が必要です。一人では為し得ません。

涼恵の活動20周年を締めくくる作品となるよう心して努めて参ります。

What is Shinto.

Shinto is the indigenous faith of the Japanese. It is a way of life and a way of thinking that has been an integral part of Japanese culture since ancient times.

Observing the Shinto faith means worshipping ancestors as guardians of the family. It also means showing respect for the myriad kami—a word that corresponds to 'deity' in English—residing in the natural world. There are kami of the mountains, and kami of the sea. Kami are all around us, in every thing and every person. They may be worshipped anywhere, but many people visit Shinto shrines, called jinja, to pray, cleansing their hands and mouth at the entrance to purify the body and mind.



# 自然への感謝

枝葉は作品

執筆

生命讃歌

生きる葛藤

応援ソング

世界平和

母性

祓

幹は軸

神話

童謡

神道

目に見えないものへの感謝

神社の娘

ブラジル生まれ

根っこは生まれた環境

神職(神主)

新渡戸家

the tree

Can you hear the tree's song?

26th December, 1997

Suzue

# About Suzue's Songs 分析と結果

応援ソング

- ・常若
- ・心の夜明け
- ・ヒトゲノム
- ・弥栄

生きる葛藤

- ・縁の絆
- ・さくら道
- ・Sensitive
- ・Together Forever

和

- ・豊葦原の瑞穂の国
- ・天地への祈り
- ・敷島
- ・中今

生命讃歌

- ・北斗七星
- ・玉響
- ・Gaia
- ・更紗の光
- ・常若の森

世界平和

- ・花の祈り
- ・天Sora
- ・楽園
- ・くくり

浄化、祓

- ・みたまのふゆ～恩頼～
- ・水の惑星
- ・こだま
- ・水のメロディ
- ・くくり

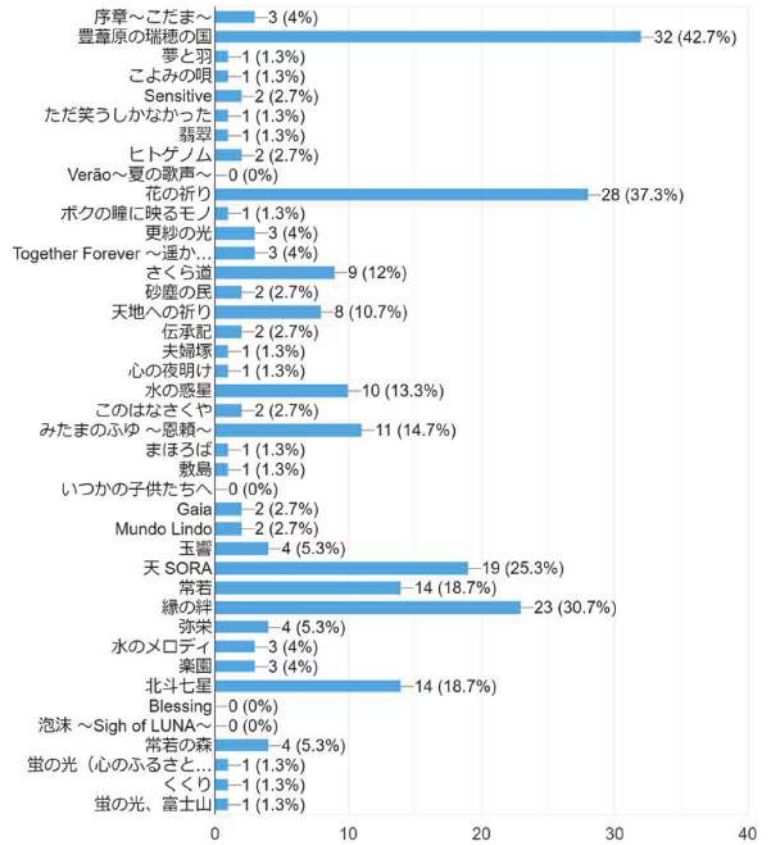
母性

- ・とつきとおか
- ・世界中へHappy Birthday
- ・夫婦塚
- ・地球のゆりかご

## 涼恵の作品で好きな曲は？ アンケート結果

- 1位 豊葦原の瑞穂の国
- 2位 花の祈り
- 3位 縁の絆
- 4位 天 Sora
- 5位 常若 北斗七星

涼恵の特に好きな曲を3つ選んでください。人気...コンサート「くくり」の第一部にて歌います！  
75件の回答



## Harmony of Diversity

It is an honor to join with all of you, to congratulate Suzue on her 20th Anniversary Concert. I have known Suzue since 2014 when she first made a deep impression on all of the audience with her unforgettable performance at TEDxKyoto.

Her music is beautiful, her lyrics are authentic and her voice - whether singing or when writing lyrics- is pure. As I have come to know her over the years, I have come to recognize and respect that Suzue has a deep personal and spiritual connection with nature and a sincere commitment to world peace.

Through her songwriting and performances, her presence is felt not only in Japan, but across the globe. She has travelled the world, bringing Japanese music and culture to other countries, and Mitama no Fuyu ~ 恩頼 ~" was ranked 68th in "Overall Top Song" on the iTunes Store in the Czech Republic. Her TEDxKyoto performance has been translated by volunteers across the globe, into not only English, but also French, Spanish, Portuguese, Korean, Burmese and Arabic. Suzue's universal message of peace, love and understanding resonates with all of us - no matter who you are, no matter the color of your passport. She truly is an international ambassador for the harmony of diversity.

Please join with me in expressing my deepest appreciation to Suzue for sharing her gift of music with us all. Also, please allow me to express my sincere thanks to all of you who attend her concerts, buy her CDs, and who follow her on social media: Thank you all for being her friends and true supporters - for without your support and encouragement none of this would be possible. If her work - as a Shinto priestess, singer songwriter, and author - is a beautiful flower garden, then you are the water and sunshine that nourishes her and helps her flourish. It is with my deepest gratitude and appreciation that I say thank you so very much to Suzue for her heartfelt performance and for making every day of our lives happier and more joyful. Thank you all for celebrating together with Suzue and with each other.

Jay Klaphake, Founder of TEDxKyoto



## 多様性の融合

涼恵さんの20周年記念コンサートを皆様と一緒に祝いできて光栄です。涼恵さんとは、2014年にTEDxKyotoでの忘れられない観客全員に深い印象を与えたパフォーマンス以来、知り合いになりました。

彼女の音楽は美しく、歌詞は本物であり、歌うときも本を書くときも、彼女の声は純粹そのものです。過去8年間で彼女と知り合い、涼恵さんが自然と精神的な深いつながりを持っていること、世界平和への誠実な取り組みを持っていることを認識し、尊敬するようになりました。

作詞・作曲・演奏を通じて、その存在感は日本のみならず世界に向けられています。彼女は世界中を旅し、日本の音楽と文化を他の国にもたらし、「みたまのふゆ〜恩頼〜」は、チェコ共和国のiTunes Storeの「総合トップソング」で68位にランクインされました。彼女のTEDxKyotoでのパフォーマンスは、世界中のボランティアによって英語だけでなく、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、ビルマ語、アラビア語にも翻訳されています。平和、愛、理解という涼恵の普遍的なメッセージは、あなたが誰であろうと、パスポートの色に関係なく、私たち全員の心に響きます。彼女は真に多様性の調和のための国際大使と言えるでしょう。

涼恵さんの音楽の賜物を私たち全員と分かち合ってください。心からの感謝の意を表したいと思えます。また、彼女のコンサートに参加し、彼女のCDを購入し、ソーシャルメディアで彼女をフォローしてくださったすべての方々に心からの感謝を伝えさせてください。神道の神職であり巫女であり、シンガー・ソングライター、作家としての彼女の仕事が美しい花畑である場合、あなたは彼女に栄養を与え、彼女の繁栄を助ける水と太陽です。涼恵さんの心のこもったパフォーマンスと、私たちの毎日をより幸せで楽しいものにしたことに、心から感謝しています。皆さんに祝福を！

ジェイ・クラパーキ (TEDxKyoto 創立者)

## 海外での活動

### Overseas Activities

#### Religious Dialogue 宗教対話

##### in New York America



### Overseas Shinto Ceremony 'MATSURI'

#### in Bulgaria



#### In Slovenia



## 制作秘話「くくり」 Behind the Scenes

## [ 水中撮影 ]

Underwater portrait session  
香川裕貴

今回の新作「くくり」のアートワークは、水中撮影で統一しました。水はどんな器の中にも入ることができます。くくりとは調和であり傾聴(聴く理)。その境地を表現するには、水中撮影しかないと感じたからです。日本では希少な水中撮影専門の香川裕貴さんに撮っていただけたことは、幸運でした。チラシやポスターをご覧になった方に「どんな風に撮影したの？これは合成？」と質問されましたが、実際に水の中に入って撮影しています。

## [ 衣装 ]

Stage Costume  
安楽きわ

対極する二つの世界をくくりつける。例えばそれは、和と洋の融合、古典と新進の融合。西洋スタイルのアンティーク風レースと東洋スタイルの狩衣。どちらも古典・クラシック。狩衣は神職が身に付ける装束です。今回は涼恵が神職になった頃から使ってきた私物の狩衣を裁断し、安楽きわさんはプロフェッショナルな技術で東洋と西洋をミックスさせ新たな狩衣ドレスを誕生させていただきました。

他にもここではご紹介できないほど、多くのアーティストやミュージシャンにサポートしていただき、ここまで続けてゆくことが叶いました。

## [ 衣装 ]

yuyu collection  
新渡戸裕子

デビューしてから20年、初期の頃からずっと涼恵の衣装は実母が創意工夫してくれ、手作りで裁縫してくれています。親子ならではの相互理解、今回も母が裁ってくれた新たな衣装で臨みます。

## [ ロゴ ]

Suzue's memorial Logo  
小石川ユキ

この度、涼恵の活動20周年の節目に、記念ロゴを制作しました。

一目で誰なのか分かるデザインが大好評。

小石川ユキさんは、配置する角度や色の一つ一つを細部まで、その意味を見出し、物語性を説いてゆきます。その視覚で伝える情報量の高さに脱帽でした。

当日会場にて、Tシャツやポストカードの限定グッズを販売予定ですので、どうぞお楽しみに！



アーティスト名としては「涼恵」という看板を背負っていますが、現実には涼恵個人ではなく、「涼恵+α」で作品を生み出しています。この場を借りて、演者の皆様、裏方の皆様、関わってくださった全ての皆様に、心からの尊敬と感謝を捧げます。本当にありがとうございます。

年表

History

2021年(令和3年)小野八幡神社竣工式  
文化庁AFF採択事業「心のふるさと」  
コンサートを東京と神戸にて開催



2020年(令和2年)  
自身初となる随想集「言霊の響き」が上梓



2020年(令和2年)4月29日昭和の日  
メジャーデビュー「楽園」発表



2018年(平成30年)小野八幡神社再建工事始まる  
2019年(令和元年)御大典記念童謡唱歌  
角松敏生プロデュース「心のふるさと」発表



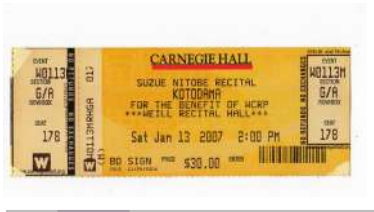
2017年(平成29年)  
15周年記念コンサート  
大阪と東京にて開催



2017年(平成29年)  
3rdアルバム  
「みたまのふゆ」発表



2007年(平成19年)  
カーネギーホールにてリサイタルを開催  
同年、帰国



2009年(平成21年)  
2ndアルバム  
「このはなさくや」発表



2006年(平成18年)NYへ渡米  
国連のNGOで東海岸で唯一の  
神職として働く



NY国連本部にて(当時28歳)

2002年(平成14年)  
デビューアルバム  
「うましあしかび」発表



2001年(平成13年)  
スタジオ言霊に所属



2000年(平成12年)上京(当時22歳)

1978(昭和53)年1月12日  
新渡戸涼恵 ブラジル・サンパウロにて誕生



ブラジルのCarnivalにて(当時1歳)  
帰国後は東京、青森、神戸にて育つ  
幼少の頃より歌うことが大好きで多感な時期を過ごす

1997年(平成9年)國學院大學の  
神職養成講習会にて直階を授く



小学生の頃から巫女として神社のお手伝い  
(当時高校生)

1998年(平成10年)  
小野八幡神社 権禰宜に拜命



※ 神職になったことで、  
より歌いたい内容が鮮明に。個から公に。

涼恵20周年記念事業実行委員会

役員名簿(順不同・敬称略)

[大阪公演]  
名誉会長 寺井 種伯 大阪天満宮名誉宮司  
会長 寺井 種治 大阪天満宮宮司  
実行委員長 本名 孝至 伊弉諾神宮宮司

[東京公演]  
会長 茂木 貞純 國學院大學名誉教授 古宮神社宮司  
実行委員長 松前 兼一 株式会社アイウィルビー 代表取締役

[大阪公演・東京公演]  
特別応援大使 マンリオ・カデロ サンマリノ共和国大使館  
名誉顧問 安倍 昭恵  
顧問 加藤 隆久 生田神社名誉宮司 神戸芸術文化会議長  
顧問 田中 恒清 石清水八幡宮宮司  
顧問 千家 尊祐 出雲大社宮司  
顧問 張文乃 NPO法人国際音楽協会理事長  
顧問 ジェイ・クラブ キ都外語大学教授 TEDxKyoto代表  
顧問 小野 貴嗣 東京都神社庁長 小野雅楽会代表 小野照崎神社宮司  
顧問 鎌田 紀彦 大宮八幡宮宮司  
顧問 猿渡 昌盛 大國魂神社宮司  
顧問 清水 祥彦 神田明神宮司  
顧問 東角井 真臣 武蔵一宮氷川神社権宮司  
顧問 利根 康教 寒川神社宮司

理事 村山 和臣 白山比咩神社宮司  
理事 工藤 均 高山稲荷神社宮司 荷神社宮司  
理事 葦津 敬之 宗像大社宮司  
理事 永井 一灯 佛心寺住職  
理事 藤江 正謹 大阪府神社庁長 杭全神社宮司  
理事 垣田 宗彦 兵庫県神社庁長 湊川神社宮司  
理事 佐藤 貞茂 (株)アルファインテル南米交流代表取締役  
理事 平田 篤州 檸檬新報社代表理事 産経新聞東京本社元編集長  
理事 木村 智彦 学校法人浪速学院理事長  
理事 今村 聖三 (株)コーニッシュ代表取締役  
理事 藤瀬 浩史 トヨタ自動車(株)内部監査室 担当部長  
理事 松原 英夫 滋慶学園グループ 元産経新聞記者 企画事業局長 編集委員  
理事 辻 有吾 (株)PAL代表取締役  
理事 尾上 尚史 FM81.4オーナー (株)UPドリームスホールディング代表取締役  
理事 東口 礼次 (有)ルッコラジャパニ代表取締役  
理事 田所 貞文 大阪府神社庁副庁長 泉井上神社宮司  
理事 足立 博史 大阪府神社庁副庁長 神津神社宮司  
理事 渡邊 紘一 坐摩神社宮司  
理事 高井 道弘 住吉大社宮司  
理事 津江 英 今宮戎神社宮司  
理事 加藤 芳哉 服部天神宮宮司  
理事 寶來 扶佐子 福島天満宮宮司  
理事 衛藤 恭 神道政治連盟大阪府本部本部長  
理事 系数 智子 婦人神職の会会長  
理事 村上 知永子 大阪府神社庁敬神婦人連合会会長  
理事 宮本 善樹 大阪天満宮鳳講講元  
理事 三木 通嗣 兵庫県神社庁副庁長  
理事 久野木 啓太 兵庫県神社庁副庁長  
理事 西井 璋 廣田神社宮司  
理事 泉 和慶 兵庫縣姫路護國神社宮司  
理事 日置 春文 生田神社宮司  
理事 脇 延秀 長田神社宮司  
理事 千種 太陽 兵庫県神道青年会会長  
理事 東山 光司 兵庫県神道青年会旺美会代表幹事

大阪事務局 三宅 隆 大阪天満宮広報企画室兼秘書室室長  
大阪事務局 白 彪 明 伊弉諾神宮禰宜  
大阪事務局 木村 尚樹 英賀神社宮司

東京事務局 守谷 徳之 下落合氷川神社禰宜  
東京事務局 栗原 健人 東久留米南沢氷川神社宮司

委員 長谷川 寛和 合同会社Redu  
委員 高階 知宜 住吉大社権禰宜  
委員 持田 照久 葛木坐火雷神社宮司  
委員 西尾 典晃 宇治神社宮司  
委員 浜瀬 麻由子 篠笛奏者  
委員 山下 真由子 ダンサー  
委員 高橋 弘実 フラワーアーティスト  
委員 相葉 恭子 司会 ラジオパーソナリティ  
委員 泉屋 宏樹 iDデザイン事務所  
委員 奥田 絵美 (株)ママそら代表取締役  
委員 河村 英昌 伏見藤澤山大光寺  
委員 新渡戸 素 小野八幡神社宮司  
委員 新渡戸 翔太 小野八幡神社禰宜  
委員 松田 光輝 スタジオ言霊  
涼恵プロモーション部の皆様

協賛者ご芳名 (順不同)

大阪天満宮 宮司 寺井種治 様  
伊弉諾神宮 宮司 本名孝至 様  
石清水八幡宮 宮司 田中恒清 様  
住吉大社 宮司 高井道弘 様  
高山稲荷神社 宮司 工藤均 様  
湊川神社 宮司 垣田宗彦 様  
学校法人浪速学院 理事長 木村智彦 様  
株式会社コーニッシュ 代表取締役 今村聖三 様  
泉井上神社 宮司 田所貞文 様  
神津神社 宮司 足立博史 様  
坐摩神社 宮司 渡邊紘一 様  
今宮戎神社 宮司代務者 津江英 様  
枚岡神社 宮司 中東弘 様  
服部天神宮 宮司 加藤芳哉 様  
神道政治連盟大阪府本部 本部長 衛藤恭 様  
大阪天満宮鳳講 講元 宮本善樹 様  
兵庫縣姫路護國神社 宮司 泉和慶 様  
小野八幡神社 宮司 新渡戸素 様

英賀神社 様  
高岳神社 様  
蒲田神社 様  
春日神社 様

行矢射楯兵主神社 様  
ヤマネ建築株式会社 様  
株式会社マルハチ 様  
有限会社チェーンジング 様



How do we get Suzue's information?

Please follow me and subscribe!

今後の予定など、新たな情報はSNSをご活用ください。  
涼恵の活動を引き続き応援サポートして下さる方は  
以下からフォロー&チャンネル登録をお願いします!

Website、SNS情報は  
こちらから



涼恵 Website  
<http://suzue.asia/>



涼恵 Instagram  
[https://www.instagram.com/suzue\\_priestess/](https://www.instagram.com/suzue_priestess/)



涼恵のCD販売はこちら  
<http://suzue.asia/store/>



涼恵 iTunes  
<https://music.apple.com/jp/artist/%E6%B6%BC%E6%81%B5/868051799>



涼恵 書籍「言霊の響き」  
[https://www.amazon.co.jp/dp/4908128278/ref=cm\\_sw\\_em\\_r\\_mt\\_dp\\_QQ3GJ435JWXJ435B6658](https://www.amazon.co.jp/dp/4908128278/ref=cm_sw_em_r_mt_dp_QQ3GJ435JWXJ435B6658)



涼恵 Facebook  
<https://www.facebook.com/suzue.musica/>



涼恵 Twitter  
[https://twitter.com/suzue\\_nitobe](https://twitter.com/suzue_nitobe)



涼恵公式LINE-Suzue Official  
<https://lin.ee/w2p55pq>



涼恵 Youtube Channel  
<https://www.youtube.com/channel/UCqLAM6nfOTlrreaAIUY0sA>

A Message from  
TOSHIKI KADOMATSU  
角松敏生さんからの  
応援メッセージ

涼恵さん20周年おめでとうございます。  
20年とは随分と時は流れたものだ。  
彼女と出会ったのはそれよりも前だったろうか、  
まだ少女のあどけなささえも湛えていた頃だった。  
知人のミュージシャンからの紹介で、僕の音楽を愛聴してくださっているからということ  
だったが彼女自身も音楽活動をしているということでその後もたまに連絡を取り合うこと  
はあったが、しばらくご無沙汰していた。  
そんなある日、久しぶりに連絡が来た。聞けば今も変わらず音楽活動をされている  
という。その時は「へえ、頑張ってるんだ・・・」と、思ったものだ。  
しばらくぶりに会った彼女は、お子様も授かり立派な淑女へとご成長なされていた。  
育児、神職、そして音楽活動と、精神的に活動されている姿には感心したものだ。  
そんな彼女から日本の童謡を歌うアルバムのプロデュースを依頼された。  
元々本邦の伝統や文化に愛着があった私にとってはとても興味深い企画でもあったので  
引き受けさせて頂いたのだが、やってみると本当に学びの多い仕事だった。  
彼女を後援している神社関係の方々とのご縁もいただき、今でもとても感謝している。  
しかし、実をいうと彼女の歌を面と向かって聴くのはこの時が初めてであった。  
それまでも彼女の作品や活動を拝見させて頂いては来たのだが、スタジオで  
正面から向き合うのは初めてだった。音楽プロデューサーとして何十年もやってきた  
経験から言わせていただければ、スタジオのマイクを通して一対一で向き合うことで  
その歌手の本当の姿というものが見えるものだ。  
歌手としての実力はもとより、個人の性格、癖、嗜好、価値観、そして育ち  
そういったものまでも観えてくる。  
そこで僕自身が感じた様々な彼女の「姿」というものをここで述べるのは控えさせていた  
だくが、簡潔に言えば、独特のこだわりがある人であり、努力家であるということだ。  
正直に言えば、彼女のこれまでの活動や歌を聴いてきて感じてきたのは  
「この人は何をやりたいのだろう」ということだった。  
それは今もってしても謎なところが多いのだが(笑)。  
とにかく、以前僕は彼女にこう言った。  
「君は音楽家ではないね、曲を作る時も鼻歌レベルだろう、おそらく」  
と、言うと、彼女は実にさっぱりと「その通りです」と答えた。  
その時、こういう人はある種の人々の心を掴むだろうと直感した。  
さらに彼女はこうも言った。  
「私は角松さんの周りにいる素晴らしい女性シンガーのように上手には歌えません」と。  
なんと、正直な人なのだろうと思った。  
自分の実力と向かい合いながら、それでも歌いたいのだ、そういう気迫があった。  
勿論、彼女の歌を聴いたことのある人ならば、彼女が相応の歌い手であることはご存知だ  
と思う。しかし、彼女自身自身それが納得のいくレベルではないことと自覚しながら、  
それでも歌うのだ。その有り様に惹かれる人々が沢山いるということだろう。  
もちろん、現職の神職であるという異色のバックボーンも人を呼ぶ要素で  
あることは間違い無いのだが、それ以上に彼女が歌うという所作を通して  
伝えたいこと、それ自体に多くの人が共鳴するのかもしれない。  
だから20年という年月、音楽活動を継続してこられたのだと思う。  
それは紛れもない「力」だ。  
今でも僕は、彼女のことを音楽家でも歌手でも無いと思っている。  
彼女は、「音楽を操る人」であり「歌を紡ぐ人」だと思っている。

音楽を操り、歌を紡ぎながら、彼女が何を伝えようとしているのか。  
それは、彼女の歌を聴き続けた人にしかわからない未来であろう。